

月報

岡崎の教育

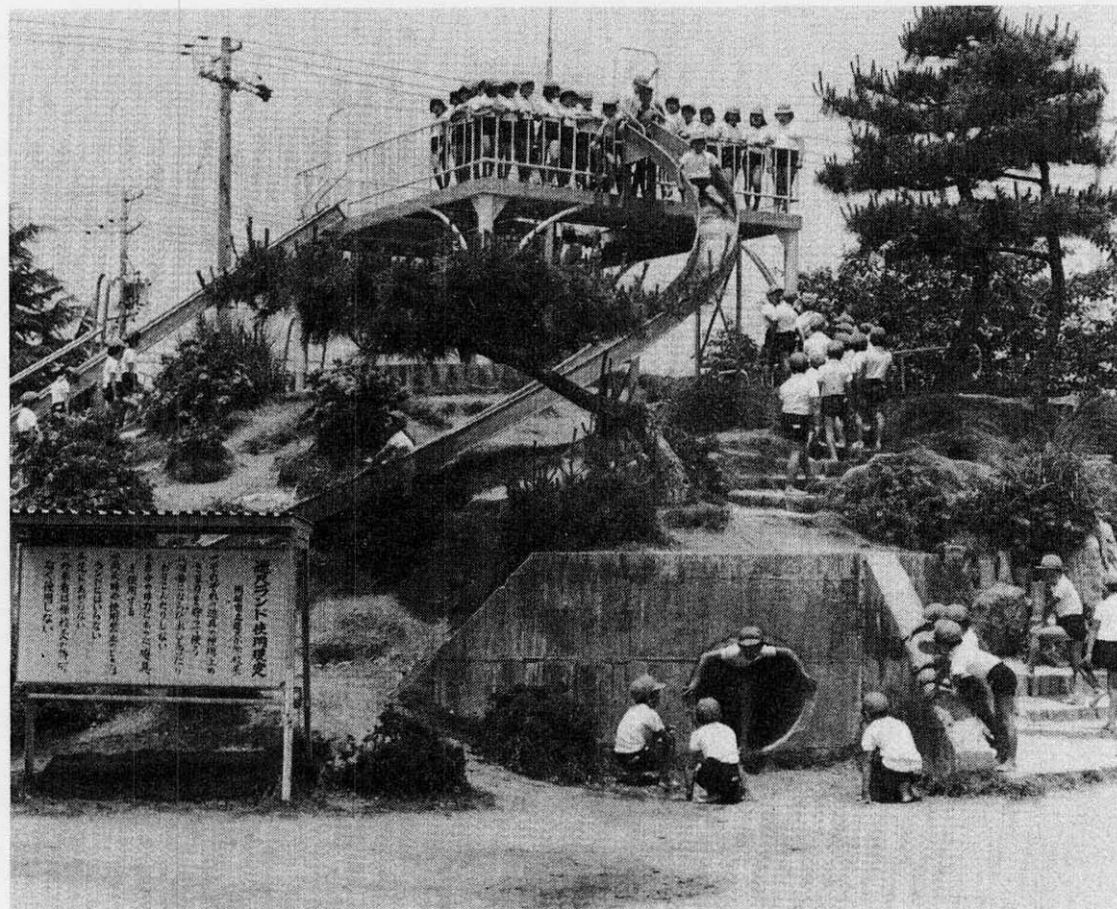
7月号

垂直な壁
くさをりをたぐり
足を押しつけ
歯をくいしばって
よじ登る

長いスロープ
歓声をあげ
風を切って
一気に
すべり降りる

一人ひとりの
息がはずむ
一人ひとりの
目が輝く

昭和57年7月1日
編集 / 発行
岡崎市教育委員会



(連尺ランドでの体力づくり — 連尺小)



青少年の非行化と保護司

稲葉 浅吉

—教育随想—

青少年の非行化が年を遂うに従って低年齢化し、且つ増加しつつあるのは、誠に嘆かわしい限りです。岡崎警察署の発表によると、昭和五十六年度中の岡崎市・額田郡の少年犯罪（触法）数は四六四件であり不良行為件数は一三三三三件で警察の御厄介になった者がこんなにもあるのかと驚かされます。

私は退職後法務大臣から保護司の委嘱を受けて八年になりますので、比較的青少年の非行の実態を知る事ができました。保護司は犯罪をした者や非行のある者に、通常の社会の中で、心を改めさせ、生活を改めさせ、犯罪や非行をしない確かな人間になって貰うために、保護観察官と協力し、保護し援助し促進して彼等を更生させることが主たる任務です。

名古屋観察所管内の岡崎保護区（岡崎市・額田郡）の保護司の定数は一〇五名です。昭和五十六年度中で保護観察処分

を受けた者は、成年・未成年者合わせて二百余名ありますので、各保護司は平均二名を常時担当している事になります。

未成年者の多くは、高校中途退学者または中学時代から非行化しそのまま社会に送り出されて来た者たちです。

保護観察処分を受けている者を対象者と呼んでいます。新たに担当する対象者については、観察所から保護司宛に、保護観察になった事件の概要・家庭の状況

本人の生活歴・友人関係・保護観察上の問題点と処遇の方針・家庭裁判所に提出した本人の誓約書等が送付されて来ますので、これに基づいて指導します。指導の場は主として保護司宅です。対象者には原則として月二回保護司宅を訪問させ、現在の生活状況を報告させたり、悩みごとを隠さず話せるように仕向けています。

指導方法は対象者によって異なります

が、この方法が最適だと言うものは未だ見出せませんが、次の事のみは共通しています。

1、「悪い行いはするな。強い意志を持ち勇氣を出して善いことをせよ。」といくら説法してもむだです。また、おどしても効果はありません。この子たちはこの言葉を何百遍となく聞いている事でしょう。悪の魅力に敗けているのが現実の姿でありますので、この現実の上に立つての指導でなければ無意味です。

2、「皆やっている。自分は運が悪かった。」と感じている者が多い。それはこの子の周囲での事であって、真の皆でないことを理解させねばならない。

3、在学中校校停止・家庭謹慎等の処分を受けた者もありますが、この方法は電話テレビのない時代、落第の制度のあった時代物で、現在では逆効果の様です。

4、芯からの悪者はいません。強そうな事を言っているが、実は気の弱い淋しがり屋が多く、自分を理解してくれる人を待ち望んでいるのです。彼等は、大人の善意を理解せず不信任が強いが、いつかは分かって貰えると信じて諦めないことが必要です。

立て前論のみでは青少年の非行化防止はできません。少なくとも学校ではこの子の指導は学校教育外だと見切りをつけて安易に無報酬の保護司の手にゆだねる事のない様をお願いしたいものです。

（岡崎市教育委員長）



フランスの体話二題

清水 厚治

▲「ジャンボにしますか。」

「いや、小さいのいいよ。」

「……」

サンドイッチを注文する店内、ジャンボは特大と思ひこむ先入観と、フランス語の無知が重って起きた。

「ジャンボ」が「ハム入りサンド」の意味とわかったのは、店の様子に慣れ、話はずむようになって、店員との身振り手振りの会話ならぬ、体話をこなしただであった。

▲「コーヒーをください。」

カウンターに腰を落着け、コーヒーの芳香にひたる。物めずらしそうな視線が背に走る。フランスの地方都市、アルンヘン。

日本の五円玉・五十円玉をマスターに示すと、なごやかな笑顔が返ってきた。マスターから、コップ敷きと攪拌棒を戴き、タバコのサービスを受けた。人の温かさに包まれて過すひととき、不安を拭う最良の薬であった。



現在の矢作橋 (S. 57.5)

—ふるさとの山河—

矢作川 (4)

矢作橋

日吉丸が矢作橋で蜂須賀小六に会ったといわれているが、その頃はたして矢作橋は架かっていたのだろうか。実は、架かっていなかったようである。あつたとしても本格的なものではなく、舟橋ではなかったかといわれている。

ともかく天正年代ころまで橋はなく、舟で渡るか、舟橋によつたようである。天正十七年(一五八九)の「三州額田郡八町越百姓之事」によれば、八町に渡し場があつたことが書かれている。

また「岩淵夜話集」には、永禄三年(一五六〇)家康在城時に土橋があつたとある。「東海紀行」「矢作古記録」にも慶長六年(一六〇一)に土橋「七五間」の記事があるが、度々の洪水によつて、舟橋と土橋が繰り返し返されていたようである。その後、矢作橋が本格的な板橋になつたのは、矢作村庄屋岩月家の「矢作橋御

橋記録」によると第一回は寛永十一年(一六三四)のこと、長さ二〇八間(約三七八メートル)、ひばや桧材とある。請負人は大阪のなは屋半七である。以後、橋替え修理は公儀の直営となる。慶安四年(一六五一)には、板替えをした。寛文十年(一六七〇)に焼失し、その時は舟十隻、船頭三十人により渡れるようになる。第二回の架橋は、延宝元年(一六七三)、長さ一五六間、幅四間。正徳三年(一七一三)、第三回架橋。享保十八年(一七三三)、八百両にて岡崎藩主水野忠輝に命じ修理させる。延享二年(一七四五)第四回架橋。この架橋時のことは、矢作神社に設計図の額が奉納され現存している。

以後幕末までに合計九回の架橋があつた。この間修復や洪水による大被害などで一時渡船もあつた。ことに安政二年(一

八五五)の暴風雨による大破以後は、二十年間も舟で渡つている。

大正二年(一九一三)九月第十二回の架橋で初めて鉄橋となつた。長さ一五〇間五尺(約二七四メートル)幅三間半で旧橋梁より五三間上流に架した。このときの橋のたもとにあつた、「やはぎばし」を名記した石柱は、矢作神社東側堤防上に移されて現存している。

現在の矢作橋は、昭和二十六年五月に現国道一号线の新設にもなつて架橋されたものである。長さ二八〇・八メートル、幅十八メートル。その後昭和三十五年に改築され現在に至つている。

第一回(一六三四)の架橋に始まり、現在十三代目の橋となり、今も昔と同様東西文通に重要な役割を果たしている。

豊後国岡原史・矢作史・豊後地誌・新編豊後地誌

(矢作北中・飯尾征彦)



大正2年に架橋された矢作橋

共通の言葉は、笑顔と身振りと感謝の心と知つた。(六南小)

香港にて
小林 丈子

もう十何年も前のことになるのだろうか。映画や小説にひどく凝つてしまい、全く現実から遠ざかった世界に閉じ込まつていたのは。

そんな中、香港を舞台にした「暮情」という映画を見て以来、一度訪れたいという思いがやまなかつた。アパテイーンの水上レストランや水上生活者たちの船溜まり、ビクトリアアピクもすべて当時と変わっていない気がした。

香港の一番の魅力は何と言っても料理と夜景である。長い長い菜箸のような箸で食べた北京ダックの味は最高だった。

しかし、香港には、想像以上に裕福な人々と貧しい難民がいる。車のプレートナンバーに何千万もかける人もいれば、街頭で薄汚れた服で

「これ千円、全部で千円。」

と、お金をかせぐ子供たちもいる。学校という保護された社会の中の子供たちしか知らない私にとって、彼らは中々たくましく育つているようにも思えた。

しかしながら、今我が家では、中国茶の香りと共に、これで一層、オリエンタル文化の魅力に、とりつかれてしまつて

(矢作中)

岡崎再見

37 魚・青果市場

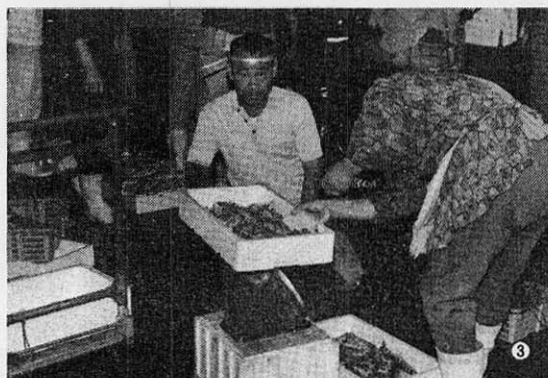
魚屋さん、八百屋さんと呼ばれる小売業が商品を生入れる卸市場は、市内に魚市場が一所、青果市場が五カ所ある。

魚、野菜類の流通は一概にはいえないが、仲買、卸業者などといわれる中間業者を経て生産者（漁師）から消費者へ商品が渡る。訪ねた市場でも、最低二つの業者を、多いものでは五つ、六つの業者を経て消費者に渡るものであるという。「流通機構はたいへん複雑で値段にも影

響しています。少しでも安くみなさんのところへ届くようにしたいのですが」と関係者は話される。

早朝、取り引きは威勢がよい。「さあさあ、さあ」というかけ声に、磯の香りにひたりながら流れを使って野菜を洗っている老婆が日に浮かぶ。

生産者（漁師）にも消費者にも喜ばれる流通を願いながら、輝きの増した太陽を背にしての帰り道であった。





7



6



9



8



11

5月5日主要品目入荷(販売)数量及価格表

野菜		果物		畜産		魚介	
品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量
人参	40本	キャベツ	20本	鶏肉	30kg	鯛	1500
玉ねぎ	20本	白菜	10kg	豚肉	10kg	鰻	1500
ピーマン	20kg	トマト	1000	牛肉	10kg	鯖	1500
ピーマン	2kg	ナス	500	鶏卵	10kg	アジ	1500
ピーマン	20kg	ピーマン	500	鶏卵	4kg	アジ	1500
ピーマン	16000	ピーマン	2kg	鶏卵	500	アジ	1500
ピーマン	40	ピーマン	300g	鶏卵	150	アジ	1500
ピーマン	500	ピーマン	1kg	鶏卵	100	アジ	1500
ピーマン	3000	ピーマン	1kg	鶏卵	15	アジ	1500
ピーマン	2000	ピーマン	1kg	鶏卵	15	アジ	1500

10



12

- ① 身焼けしていないかと鮪を切る。
- ② 七時三十分、せりのピーク。
- ③ 小分けして、せりの準備をする。
- ④ 三河湾でとれたクジメ、カレイ、タイラギ、キス、アカウオ……。
- ⑤ せりが始まる。生きのよいのを少しでも安く。小売商の目は光る。
- ⑥ せりのため、市場内に搬入。
- ⑦ 種類ごとに並べられた近隣の野菜市場全景。
- ⑧ 紀南のアマナツ、ウメ、熊本のスイカ、宮崎のカボチャ……。
- ⑨ 入荷数量と価格表。
- ⑩ 北海道のゴボウ、千葉のニンジン、ダイコン……。
- ⑪ 北隣の八百屋さんの集い。
- ⑫ 近隣の八百屋さんの集い。

機器利用

美川中 鴨下 智幸

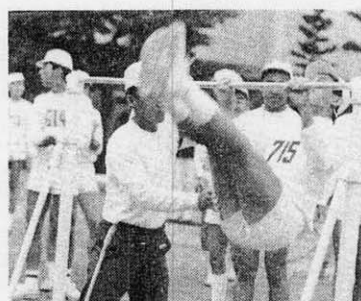
生徒が意欲をもって学習に取り組むように、いろいろ手段で考える中で、VTRなどのAV機器活用を、昭和五十四年度から継続して実践している。

「足首を引きつけるタイミングが、遅れると。」

「腰が鉄棒から離れちゃつてるなあ。」

「ける方向がちがうよ。」

自分の演技を見ること、自分の努力が実る過程が視覚にとらえられることの喜びは、予想以上に大きい。これまでの実践で生徒の学習課題把握が、具体的にになり、学習過程における「つまずき」の発見と、フィードバックが的確になったことなどに



成果があがっている。

電源コード、カメラのセッティング、そしてVTRを肩にしての体育館や運動場への往復など、準備に費やす負担は大変である。しかし、メカニックに強いT先生、情報処理能力抜群で実践熱心なF先生、体力実行力のK先生、細かい配慮に行き届くN先生といった体育部のチームワークで、解消できることも多い。

何を、どこで、どのように使ったらという、科学的な検証を行う必要を感じることも、また一人ひとりの生徒が、運動の楽しさ・喜びを追求する時、その内容は多種多様である。教師がそれらに対応して、個々に手をさしのべてやれているかなどに、授業実践のねらいを絞って取り組んでいるが、機器利用の隘路とでもいうか、骨のおれることが多い。

学習カード、意識調査、授業での数値や反省の収集などを通して、生徒の変容をつかみ、きめ細かな指導が行われたら、効果は大きく指導にもより自信が持てる、自らを励ましている。VTR利用は、教科指導の他に、部活動でも積極的に行っているが、目的が技術の上達に

イントが置かれるので、教科時とは違った工夫も必要となる。

技術練習、特にフォームを徹底させたい時など、かなり高度な範囲の追求も可能にしてくれる。

モニタテレビの画像へ集中する目を見た時、いろいろな苦労は、どこかへ消えてしまうから不思議である。

教育日々



鉛筆供養

美合小 飯尾ときゑ

「先生、私の宝物だよ。」

貴子が、きれいな箱の中に入っている短くなった鉛筆を見せしてくれた。他の子もほとんどが、筆箱の中に、短い鉛筆を入れている。

物の願いにあった使い方をしよう、道徳の時間に「もちのま」と指導して以来、短くなっても、キャップや補助軸をつけて使う子が増えた。補助軸の作り方も教えた。短い鉛筆をナ

イフでけずる事もできるようになった。

けずれなくなるまで使った鉛筆は、愛着のあまり処分できずに筆箱のすみに入っている。

このままではきちんと管理できなくなると考え、「鉛筆供養」をしたらどうかと提案した。

「うめれば土がつくし、燃やせば熱いからかわいそうだ。」と、多くの子から意見が出され、「やっぱり宝物にしておいた方がいい。」

と、決まりそうになった時、「箱の中に柔らかな紙を敷き、花を入れてうめあげよう。」と、美紀が言い出した。

そして、子供たちの手で供養祭の計画が立てられ実行された。司会をする子、お礼のこぼしを読む子、穴をほる子、土をかぶせる子、花を置く子、そして全員でかえでの葉を周りを飾りつけておまじりをした。

「小さくなるまで使わせてくれてありがとう。土の中ではないやと思うけど、がまんしてね。よ

ごれないように箱に入れてあげたからね。」

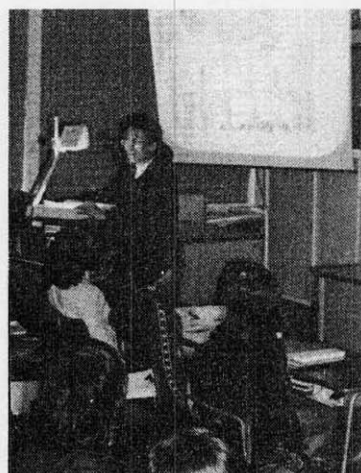
「鉛筆君と別れたくないな。さびしくなるけど、長い間本当にありがとう。今度も新しい鉛筆を大事にするよ。」

そう供養塚の前で誓った子供たちは、他の物も大切にしようになった。落とし物も減ってきた。

「くつ洗い」(勤労)の道徳指導も相互して、床は光り、子供の姿が床にうつるようになった。

週一回の道徳指導だけでは子供も変容させる事はできない。特活と合わせて指導し、学級全体の、物を大切にす雰囲気の高まりの中で、粗雑だった子も直すようになってきたのである。

鉛筆供養の会は、二年二組全員の心に、いつまでも鮮やかに焼きついて残っている事と思う。





岡崎に「世界子ども美術博物館」

五十九年秋のオープンをめざし、着々と準備

私たちの郷土岡崎の地に「世界子ども美術博物館」が生れます。これは県の広域文化広場の一つで、現在、愛知県と岡崎市が昭和五十九年秋のオープンをめざし、共同で建設事業を進めています。

市内岡町の丘陵地帯、四万平方メートル余りに世界子ども美術博物館をはじめ、親子造形センター、芸術の森、はなの木広場等の諸施設をつくらうという広大な計画です。そして、この世界子ども美術博物館には、諸外国の児童画を中心に、それぞれの国の造形性の高い玩具や伝承的民芸品を一堂に集め、これを展覧しようとするものです。また、芸術の森やはなの木広場には、おかざき親子展出品の野

（寄贈刊行物・資料等）

◆感動ある授業の創造 緑丘小

◆指導の手引 第6集

◆障害児の買物学習事例集 教科指導員会

◆学校事務の手引 特殊教育部

◆岡崎の視聴覚教育 13号 市教委

視聴覚ライブラリー

◆放送番組と学習指導関連表

（小一〜六、中社・理・英）

◆視聴覚部・ライブラリー 視聴覚部

◆観察学習と表現活動 18集 緑丘小 近藤 正義

◆自然を見て考える 恵田小

◆考える子を育てる 矢東小

制記念日に表彰を受ける方々は次の通り。

〔小学校〕▽三島 加藤松裕

▽足立多嘉丸▽山中 長坂

一昭・村上高志▽奥殿 手嶋秀

夫▽六ツ美中部 鳥山幸夫・加藤きよえ

〔中学校〕▽南 本多九子・高橋明敏▽安藤平▽福岡 原田和幸

〔城北中ソフト県大会で優勝

第六回愛知県中学生女子ソフト

ボール選手権大会は去る五月

十六日・三十日に名古屋市立東

港中学校で開催された。西三河

代表の城北中は東尾張代表の加

木屋中を敗り、新人戦に続いて

県大会二連破を成しとげた。

■美合小の柴田晶子さん文部大

臣奨励賞

第27回中部地方動物園・水族

館写生コンクールで美合小の柴

田晶子さん（一年）はみごと文

部大臣奨励賞に輝いた。

■多年勤続表彰の先生方

市内の学校に多年勤続（25年）

の教育職員として七月一日の市

第26回岡崎市中学校総合体育大会の記録（昭和57年6月6・12・13日）

種目	種別	成績					
		優勝		第2位		第3位	
陸上競技	男女	美川中	葵中	六美中	中		
軟式蹴球	男女	葵中	東海中	電海中	福岡中		
卓球	男女	矢作中	南中	矢作中	矢作中	東海中	
体操競技	男女	南中	岩津中	矢作中	電海中		
バレーボール	男女	電海中	美川中	南中	中		
剣道	男女	福岡中	六美中	矢作中	南中	六美中	
ハンドボール	男女	矢作中	城北中	電海中	六美中		
サッカー	男女	東海中	六美中	附属中	福岡中		
柔道	男女	美川中	附属中	南中	葵中		
ソフトボール	男女	美川中	電海中	南中	中		
軟式野球	男女	電海中	城北中	岩津中	矢作中		
バスケットボール	男女	美川中	東海中	電海中	矢作中		
水泳競技	男女	矢作中	福岡中	電海中			

◎陸上競技

男子	記録	氏名	校名	女子	記録	氏名	校名
1年100m	12'6	杉浦 康秀	城北	1年100m	13'7	谷山 和美	甲山
400m	56'6	藤原 智浩	六ッ美	200m	27'5	新田 裕里	葵
800m	2'12'6	安藤 孝司	甲山	800m	2'36'2	鈴木 藤子	葵
1,2年1500m	4'35'7	大塚 崇志	美川	100mH	17'3	毎熊 由美	矢北
3000m	10'12'6	天野 真直	岩津				
1000mH	14'0'新	曾我 義明	葵				
800mR	1'40'8	六ッ美 中		400mR	54'3	新 葵	電海 中
低学年400mR	51'5	美川 中		低学年400mR	56'3	葵	
走幅跳	5m81	松坂 博文	東海	走幅跳	4m81	生物百合子	矢作
走高跳	1m84	新 戸部	東海	走高跳	1m51	新 松下 葵子	矢作
砲丸投	14m54	岡部 勝宏	東海	砲丸投	10m55	馬場有里恵	葵
200Mオープン	25'3	岩月 茂樹	六ッ美				

◎柔道

学年	氏名	校名	学年	氏名	校名
3年	増田 清志	美川中	2年	大滝 明広	電海中

◎水泳競技

種目	男子		女子		
	氏名	校名	氏名	校名	
100m	石原 智英	甲山	1'02'7	渚 三和	甲山
200m	白田 彰	甲山	2'19'5	温水 裕美	葵
100m平泳	橋本 光弘	電海	1'12'2	鳥山いづみ	福岡
100m背泳	鈴木 正泰	南	1'12'3	岩月留美子	矢作
100mバタフライ	野野 圭司	甲山	1'04'5(新)	野野 留美子	電海
200個人メドレー	藤山 克行	矢作	2'34'1	渡井津喜江	電海
400mメドレーリレー	矢作 中	学校	4'42'6(新)	矢作 中	学校
400mリレー	矢作 中	学校	4'16'8(新)	甲山 中	学校

ほとけがね寺跡



点

所在地一岡崎市駒立町

県道足助線、東蔵前の信号をまがり、一路駒立へ。ぶどう園が見えてくる中駒立のバス停手前

から、細い山道を登る。ぶどう畑から松の木の下に広がる千両畑、そして、うっそうと茂る木々、登るにしがいがあたりの景色も変化する。二十分程登り続けると、急に展望が開け、村積山が見える。頂上とほぼ同じ高さである。そこから少し登った所に、苔むした石垣があった。幅約二十メートルの平らな土地の両側に、約八十メートルぐらいたっている。高いところは一メートルはあるのか。これが

駒立の本光寺の起源とされる寺の跡である。

この地に、およそ六百年前、滝山寺の末寺が建立され、滝山寺の道場となっていた。滝、米河内からの道も通じ、厚く信仰されていた。その後荒廃してしまつたため、約四百六十年前に現在地に移転したという。

今では訪れる人もほとんどいない。しかし、かつてここに寺があったことは、苔むした石垣と本光寺に安置されている本尊仏、それに、「ほとけがね」という通称が今なお伝わっていることからもうかがわれる。

●カ ッ ト 城北中 畔柳 とも子

この本を

- 往く人来る人 綱淵 謙錠 1,000円
- 生きるってすばらしい 宇津木澄編者 980円
- 楽器の科学 橋本 尚 480円
- 人間のタイプと適性 I.B. マイヤーズ 大沢武志 共訳 大原武一 2,000円
- 教えるということ 大村 はま 650円
- 古語に聞く 竹西 寛子 1,300円
- 日本の成熟と未成熟 岸田純之助編著 1,200円
- 日本の教育 ドイツの教育 西尾 幹二 900円
- 「子供学」対談 吉岡たすく 1,200円
- 凡談愚言 藤山 寛美 800円
- 子どもを活かす力 東井 義雄 600円
- 敗れざる教師 津本 陽 1,000円

「おう」百キロを超える鮪を、のこぎりで輪切りにした瞬間、競りに集まつた人たちのどよめき。胴周リ一メートルはある大きなもの。生の鮪は魚屋さんの競りのときに、初めて腹を割り取り引きをする。中卸、二十万円で仕入れたものが、競り落されて五万円で引き取られていった。(大損の一例)



赤い金魚が卵を産んだ。……
 児童の期待に応え、六月三日、教室の水槽で飼っている金魚が孵化した。それまでは一隅に置かれていただけの存在であったが、その価値は一変した。世話をする児童の口上と行動、その真剣な姿、眼の輝き、素晴らしく生きている。全員の関心となつて……

「知るもんか、そんなこと。」 大きなとなり声。ふり向くと可愛い女の子。目が合ってもはずかしそうな表情もしないで走り去ってしまった。男女の区別は服装だけでなく言葉遣いまで分らなくなつてしまった。「鈴木がぼくをなぐった。」と女の子の報告を聞き、言い直させたがそれも年のせいかと考えこむ。

すみきつた青空。駒立まで来ると空気がもうまい。「点」の取材で、久しぶりに山道を歩く。必死に後を追いかけて、汗を流す。その後、お寺でいた抹茶のおいしさ。感謝。
 それに、ジベレリン処理で猫の手も借りた忙しさの中、快く半日近く取材に協力していただく。また、感謝。